

ともしび ブダより

第94号



社会福祉法人 依田窪福社会

事業別連絡先一覧

- | | | | |
|-------------------------------------------|----------|-------------------|----------|
| ●法人本部 | ☎85-2202 | ●デイサービスセンター 武石 | ☎75-0522 |
| [E-mail] info@yodakubofukushikai.jp | | ●ヘルパーステーションこすもす | ☎85-0098 |
| [U R L] http://www.yodakubofukushikai.jp/ | | | |
| ●依田窪特別養護老人ホーム | ☎85-2218 | ●デイサービスセンター 長門 | ☎68-0226 |
| ●短期入所生活介護事業 | | ●小規模多機能型居宅介護 大門の家 | ☎41-2123 |
| ●依田窪福社会居宅介護支援事業 | ☎85-2047 | ●デイサービスセンター 和田 | ☎88-0077 |
| ●相談支援事業 花もも | | ●高齢者生活福祉センター | |
| ●寄り合い処 なすな | ☎75-0522 | ●グループホーム和田 | ☎88-0088 |



ぴよんぴよんっと跳んで、 目標へ辿り着きたい



理事長
渡邊 和美

ご利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は卯年です。法人の目標は「地域の高齢者のためにどうあるべきか」です。先へ先へとうさぎのようにぴよんぴよんっと跳んで、職員と一丸となって目標へ辿り着きたいと思います。

新型コロナウイルスが2020年から日本国内で広がり3年になろうとしています。未だに、世界中が新型コロナウイルスに翻弄されています。発生以来、新型コロナウイルスの感染拡大の中での年越しとなっています。オミクロン株の出現でウイルスは変異を繰り返し、次から次へと新たな不安要素も見られます。しかし、発生当時の手探り状態であった時とは状況が異なり、ウイルスについて多くのことが判明してまいりました。ワクチン接種により死亡率低下と重症化を減らし、飲み薬も認可されてきています。

このような中で、国が一端行動制限解除をした途端に第8波の感染が急激に拡大をしていますが、国民感情は発生当時と比べますと、それほど緊張感がなく危機感を持っていないように感じますし、国もインフルエンザ並みの感染症と判断しようとしています。

職員は、目に見えない感染症に細心の注意を払いながら仕事を行い、日常生活においても感染を最小限にすべく、体調管理など徹底をしております。常に緊張感が途切れないように仕事をこなしていますが、感染回避は難しいと感じています。

今年につきましても、しっかりと対策を行っていく一年になろうかと思いますが、私たちが新型コロナウイルスの感染防止や拡大阻止のためにできることを今一度確認し、実行していくことで、コロナ禍を乗り越えていきたいと考えております。

さて、武石地域のデイサービス事業が始まり2年が経とうとしていますが、地域の皆様の協力と職員の努力により順調に推移し、微力ながらご利用者やご家族の皆様のお役に立てているものと思います。

又、和田橋場地区にありましたグループホームにつきましても、同じく好評の中、経営は好調に推移しています。その他9事業所につきましても好調に推移しておりますので依田窪福祉会は健全ではないかと思えます。ご安心ください。これからも職員一同、地元の皆様に愛され、信頼される施設のために一層努力してまいりますので、ご指導とご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、直近の課題といたしましては、感染症の拡大や災害の発生を想定した事業継続計画「BCP（Business Continuity Planning）の策定」が全ての介護施設・事業所に求められる事が決定され、2024年まで策定しなければなりません。この計画の目的は、大地震や水害などの自然災害、感染症の蔓延といった不測の事態が発生した場合でも、可能な限り業務を継続したり、早期に復旧したりできるよう備えることです。策定に向け努力して参ります。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、当法人の事業の更なる充実と発展に努めて参りますので、皆様のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご寄附ありがとうございました。

令和4年10月 ●米 / 匿名様

特別養護老人ホームともしび

感染症対策により自由な外出や面会が出来ない状況ですが、一緒に地域活動など楽しい時間を過ごしています。



収穫の秋



ともしび畑でサツマイモや落花生などたくさんの収穫がありました。
“大きいね。立派!食べたい!” “おやつにしましょう”



ともしび駅伝

久しぶりの駅伝。陽気も良く沿道で応援しました。“がんばれー”



交流

“ふるさと”のリコーダー演奏と、たくさんのお花を武石小学校 6 年生の皆さんが届けてくれました。心が温かくなりました。“久しぶりだね。うれしいよ。また来てね”

おねり行列



7 年に 1 度の武石おねり行列が来所。伝統あるおねりの迫力に感動。
“素晴らしい。良かった。ありがとう”

恒例の新そばです。目の前でそば打ちを見学。



蕎麦の日



“楽しみにしていたよ。新そばは美味しいね”



お楽しみ会

敬老のお祝いを兼ねてのお楽しみ会。祝福を笑顔で迎えられました。これからも、お元気でゆっくり過ごしてくださいね。“ご長寿おめでとうございます。いつまでもお元気で”

ヘルパーステーション こそす

低温やけどにご注意ください

冬が長いこの地域では、暖房器具を使用する頻度が増えますよね。ここで注意したいのが、暖房器具による低温やけどです。

高温での火傷と違い、じわじわとダメージを受けるため気づきにくいのが特徴です。

私たちが訪問させていただく中でも、毎年この低温や

けどの症状を発見します。電気こたつや電気毛布でも低温やけどを起こすことがあります。

特に糖尿病の方や高齢の方は、足先の感覚が鈍くなっていることがあるので注意が必要です。

ある程度温まったら電源を切るよう心掛け、暖房器具を安全に使用し、長い冬を乗り切りましょう。



デイサービスセンター武石

包丁使いはお手の物

晩秋の送迎中にみなさんが気になっているのは、たわわに実った柿。武石地域には、柿の木のあるお宅がほんとうに多いです。

「あーあ、あんなに」「誰もとらないのかねえ」「昔はどのうちもとったもんだけどねえ」それでは、と、デイ武石でも干し柿づくりを行いました。「このヘタをとってからだよ」と、言ったが早い、包丁の使い方、皮むきの早いこと早いこと。始めは心配してのぞき込んでおりましたが、心配無用。お任せします！柿揉みでは「もう少しだね、あと2回くらい揉んだほうがいいよ。」と加減をご指導いただきました。藁の上に並べて、重ねて・・・うま粉がついた干し柿を楽しめるのが待ち遠しいです。



依田窪福祉会居宅介護支援事業

積極的に人生を楽しみましょう



コロナウイルスが世界的に流行し始め3年余りが過ぎようとしています。各地で、中止となっていたイベントが行われるようになり、少しずつ賑やかさを取り戻し、開放的な気分させてくれます。その一方で、コロナウイルス感染者の増加が気になるところです。自宅訪問の際に、「外出はしたいけれどコロナウイルス感染が心配。」とお聞きします。感染時の病状や、後遺症、ご家族のことなどを考えると心配になりますよね。

でも、心配ばかりして外に出ないようにするとどうでしょうか。身体を動かさずにいると、動くのが億劫になり、さらには動けない体になってしまう恐れがあります。予防のために自宅でできる運動を行いましょう。

また、外出の際は感染予防をして、お喋りを楽しんだり、趣味の活動や、身体を動かしたり、美味しいものを食べたりして楽しみたいですね。春になっても変わらず元気で過ごせるように、活動をしましょう。

寄り合いかなすな

10月に入り新型コロナウイルス第7波が落ち着いてきましたので久しぶりに外出しました。

道の駅あおきまで別所周りで出掛けました。紅葉し始めた山々や有名な神社・仏閣を通り、途中の沓掛温泉、田沢温泉では街なみを見学しました。到着してからは買い物を楽しみ、食堂で好きな食べ物を注文して満腹になり、秋空の下で秋を満喫してきました。

また下旬からは急に寒暖差が激しくなりとても寒い日が続いたおかげで武石地区の紅葉も進みました。色づいた山々に誘われて竜の沢ダムまでドライブに出掛け写真をパチリ！皆さんダム周辺の色づきに感激していました。



「もう、そんな年になったの?!」

敬老会的一幕です。

今年は、“百寿”を迎えられた方がお二人いました。ステージの前に出てきて何が始まるのか分からない様子。「百寿のお祝いです。おめでとうございます。」と声を掛けると、「えー、私もうそんな年になったの?!」とびっくりされていました。盛大な拍手と笑い賑やかな敬老会です。独り暮らしを続け、娘さんの支援、地域のサービスを使いながら自分の家でずっと暮らしたいと願って頑張っています。出来ない事も多くなってきたと言っていました、「無理しないでやって行くことが長生きの秘訣」とおっしゃっていました。

この地域で長く暮らしていくために、一人ひとり支援していけるデイ長門を目指しています。



小規模多機能型居宅介護 大門の家

毎年恒例！ 運動会

11月、少し遅い運動会を行いました。選手宣誓をご利用者をお願いすると、「いやだよー」と照れておしゃりながらも、一所懸命に行って下さいました。応援合戦や競技中など、普段見ないようなとてもいい笑顔を見せて下さり、閉会の挨拶もご利用者をお願いして、しっかりと運動会を締めくくって頂きました。

選手宣誓や閉会の挨拶など、役割を持っていただくことで、どこか心が満たされるのではないかと思います。何かをしてもらうより、してあげる方がオキシトシンという幸せホルモンが分泌されるそうです。職員も同じように、普段見ないようなご利用者の表情を見ると幸せな気持ちになります。介護は、一方的なものではなく、ご利用者と援助者の双方の営みではないかと思います。だから私たちは、「携わること」を大切に、ご利用者との時間を過ごしていきたいと思っています。



グループホーム 和田

9月26日に敬老会を行いました。



この日は日頃の感謝の意をこめまして、ご利用者に楽しんでいただきました。



建物南側にテラスができました。

災害時の避難経路として、長和町の補助を受け、新たなテラスが整備できました。

10月28日(金)には防災訓練を行い、テラスからの経路を使い避難しました。

普段は、天気の良い日には日光浴もできそうです。

デイサービスセンター 和田

デイサービスって?

デイサービスに来てみませんか?そう声をおかけすると、「私はまだデイサービスに行かなくても大丈夫」といった声が聞かれます。まだまだ元気だし、お世話になりたくない、自分で出来ると、デイサービスのご利用者もそう答えます。

デイサービスとは?と調べると、「自宅での生活を続けていけるように、身体機能の維持・向上を目指し、機能訓練をしたり、他者との交流を通して社会的孤立感の解消や認知症予防を図るところ。また介護者(家族)の身体的・精神的負担の軽減も目的」とされています。

デイ和田では、自宅での生活を続けていけるように、「運動をしていつまでも自分で歩きたい、身体を動かして元気になりたい」という気持ち、社会的孤立をしないように、「人と話をして関わりを

持ちたい」という気持ち、認知症予防のために、「絵手紙や手芸、カラオケなどの趣味を楽しみたい」という気持ち、そういった自ら何かしたいという気持ちの方がご利用してくださっています。元気だけど、お世話もいらないけど、〇〇したいといった気持ち、持っていませんか?〇〇したいを応援する場所でありたいと願いながら、皆さんに声をかけさせていただいています。

暖かくなって、また元気に外へ出られるように、いつまでも、この和田の地域で一緒に過ごせるように、一緒に〇〇やっていきましょう。



寒い冬、安全にお風呂に入りたい。今の季節とても大切な事です。ぜひご相談ください。



令和5年1月1日

発行者:社会福祉法人依田窪福祉会 理事長:渡邊 和美 編集:広報委員会 所在地:〒386-0503 長野県上田市下武石776-1
TEL.0268-85-2202 FAX.0268-41-4200 E-mail:info@yodakubofukushikai.jp